

目的を伝えよう

講師

阿野 幸一

◆◆◆ 今回の目標 ◆◆◆

今回学習するのは、< to + 動詞の原形 >で「～するために」という副詞の働きをする to 不定詞、そして「～するための」という形容詞の働きをする to 不定詞です。こうした表現で目的などの情報を加えて表現してみましょう。

自分の気持ちや考えを伝える、英語らしい自然な文の作り方がわかれば、相手との会話もスムーズに運びますよ。

1 スキット(問題提起編)の内容から



情報をしっかり伝えるためには、どんな言い方をしたらいいでしょう？

外出先から帰ってきて…



スミスさんの家にホームステイしている Rena が、外出先から帰ってきました。

Rena : Hi, Mr. Smith.

Mr. Smith : Rena, where did you go today?

Rena : I went to the park.

Mr. Smith : Oh, why did you go there?

Rena : I played tennis.

Mr. Smith : I see. You went to the park to play tennis.

Rena : Yes.

Mr. Smith : That's good!

Rena : Ah... I want something.

Mr. Smith : Well... What do you want?

このページ掲載の文章・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。

Rena : I'm hungry.

Mr. Smith : Oh, you want something to eat. We have sandwiches in the fridge.

Rena : Thank you. Ah... I also want something. I'm thirsty.

Mr. Smith : So, you want something to drink. How about orange juice?

Rena : Sounds good!

2 文法・表現 to 不定詞 < to + 動詞の原形 > の表現



自分の動作や行為の目的、名詞に意味を加える言い方を知ろう！

「～するために」と情報に加えるには…

I went to the station **to meet** my friend.

(私は、友だちに会いに駅に行きました)

Miranda studied hard **to be** a doctor.

(ミランダは医者になるために、一生懸命勉強しました)

☆あなたの文を作ってみよう！

I _____ to _____ .

「～するための」と情報に加えるには…

I want something **to read**. (私は何か読むものがほしいです)

I don't have time **to go** shopping. (私は買い物に行く時間がありません)

☆あなたの文を作ってみよう！

I _____ to _____ .

3 to 不定詞の働きを理解しよう!



いろいろな to 不定詞の表現には、どんな共通の働きがあるだろう？

第11回の『やりたいことを伝えよう』では、to 不定詞が「～すること」を表す<名詞の働き>をする **I want to be a comedian.**

第12回の『自分の夢や目標を発表しよう』でも、同じく<名詞の働き>をする **My dream is to be a chef.** のような表現が出てきました。

今回取り上げた **I went to the park to play tennis.** は、to 不定詞の<副詞の働き>、

I want something to eat. は、<形容詞の働き>になります。

これら3つの働きをまとめると、どんなことが言えるでしょうか？

「to 不定詞の働き」 - 不足している情報を補う

<to+ 動詞の原形>にはいくつかの用法がありますが、どの文においても「不足している情報を補う」という共通した働きがあります。

もし **I want.** とだけ言われたらどうでしょうか？「何をしたいのか?」「何が欲しいのか?」全く伝わりませんね。そこで **to be a comedian** と続けて「コメディアンになりたい」という情報を加えて **I want to be a comedian.** と表現することで、意味のある文になります。同様に、**My dream is.** で終わってしまったら、どんな夢なのかわかりませんよね。**My dream is to be a chef.** と **to be a chef** と続けることで、「夢はシェフになること」とわかります。

今回学習した表現についても考えてみましょう。

Rena から **I went to the park.** とだけ言われたら、「え、何で公園へ行ったの?」と思いますよね。公園へ行った目的や、公園へ行って何をしたのかも知りたくなります。つまり、**I went to the park.** だけでは、コミュニケーションの点から、相手に伝える情報としては不十分と言えます。そこで、公園へ行った目的を伝えるために、**I went to the park** (公園へ行った)、その先にある目的は **to play tennis** (テニスをするために) ということになり、**I went to the park to play tennis.** ということ、必要な情報を伴った文になっています。

また、もしみなさんが誰かに **I want something.** と言われたら、どのように反応しますか?「何かを欲しい!」と思っていることはわかりますが、その **something** が何なのかわかりませんよね。わからないということは、その人に何かをあげることはできません。つまり、**I want something.** だけでは、相手に伝えるための情報が不足していることが

わかります。ではどのように something に情報を加えたらいいのでしょうか？

I want something. の先にどんな情報が欲しいかという、eat (食べる) という情報ですよね。something の先を見るために to を使って something と eat をつないで、**I want something to eat.** と言うことができます。これで「何か食べるものが欲しい」という意味になります。このように言われれば、何か食べ物をあげることができますよね。



4 スキットの内容(解決編)から



Rena はどう言えばよかったのか、空欄に書き入れてみよう！

Mr. Smith : Rena, where did you go today?

Rena : I went to the park _____ .

Mr. Smith : Great!

Rena : Ah... I want something _____ .

Mr. Smith : OK. We have sandwiches in the fridge.

Rena : Thank you. I also want something _____ .

Mr. Smith : Well... How about orange juice?

Rena : Sounds good!

こんな表現もできるよ！

I'm happy to hear the news.

もし誰かが I'm happy. とだけ言ったらどうでしょうか？うれしい気持ちでいることはわかりますが、どうしてうれしいのか、その理由や原因を知りたくなりますよね。

そこで、うれしいという感情を持つようになった理由を伝えるために I'm happy のあとに、to hear the news. と情報を補って表現することができます。I'm happy (うれしい) その先を見てみると to hear the news (その知らせを聞いて) というつながりになります。